

2022年度卒業生アンケート調査結果報告

<調査概要>

□ 調査の方法

- 調査対象 2022年度学部卒業生 ※ただし、法学部生を除く
調査時期 9月卒業生：2022年9月11日～2023年3月31日回収分までを集計対象とした
3月卒業生：2023年3月24日～2023年3月31日回収分までを集計対象とした
調査方法 原則、質問紙調査票を用いた学生証番号の記名式による学位記交付会場での集合調査
回収状況 回収率：93.1% 対象者数：5,374人 有効回答数：5,001件

□ グラフ参照時における共通注意事項

- 端数処理の関係上、合計と内訳が小数点第一以下で一致しないことがある。

1. 大学及び卒業学部・学科に対する満足度

図1は、「あなたは、法政大学および卒業学部・学科に対してどの程度満足していますか。」（“満足”～“不満”の5件法）の回答結果である。それぞれ、肯定的回答（“満足”あるいは“やや満足”と回答した者の割合。以下同様）が図の右側となるように示した。

「法政大学」の満足度に関する肯定的回答は87.5%、「卒業学部・学科」の満足度に関する肯定的回答は87.0%となった。

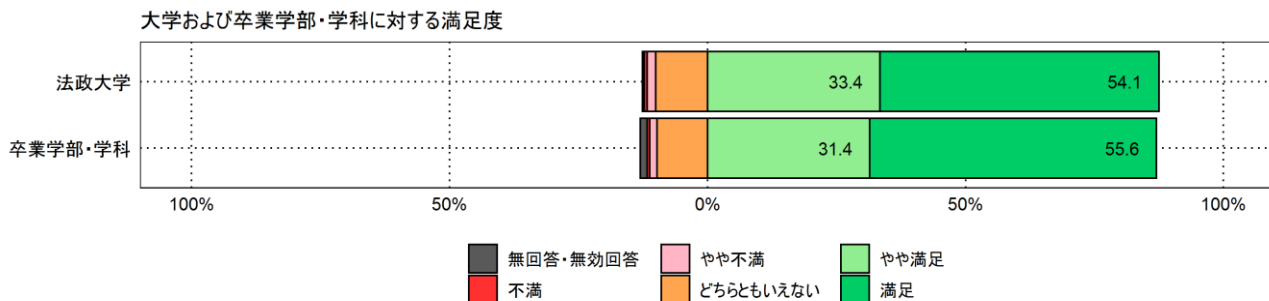


図1 大学及び卒業学部・学科に対する満足度

2. 教育内容満足度

図2は、「教育内容についてどの程度満足していますか。」（“満足”～“不満”の5件法）の回答結果である。それぞれ、肯定的回答（“満足”あるいは“やや満足”と回答した者の割合。以下同様）が図の右側となるように示した。

最も肯定的回答が多かったのは「専門課程の教育」の88.6%である。そして肯定的回答が8割を超えたのは、「教養教育（基礎科目、視野形成科目など）（GIS除く）」の87.0%、「専門教育カリキュラム（科目の種類・配置・配当学年）」の85.4%、「教授陣」の84.2%、「ゼミナール」の83.3%、「カリキュラム全般（科目の種類・配置・配当学年など）」の82.2%となった。

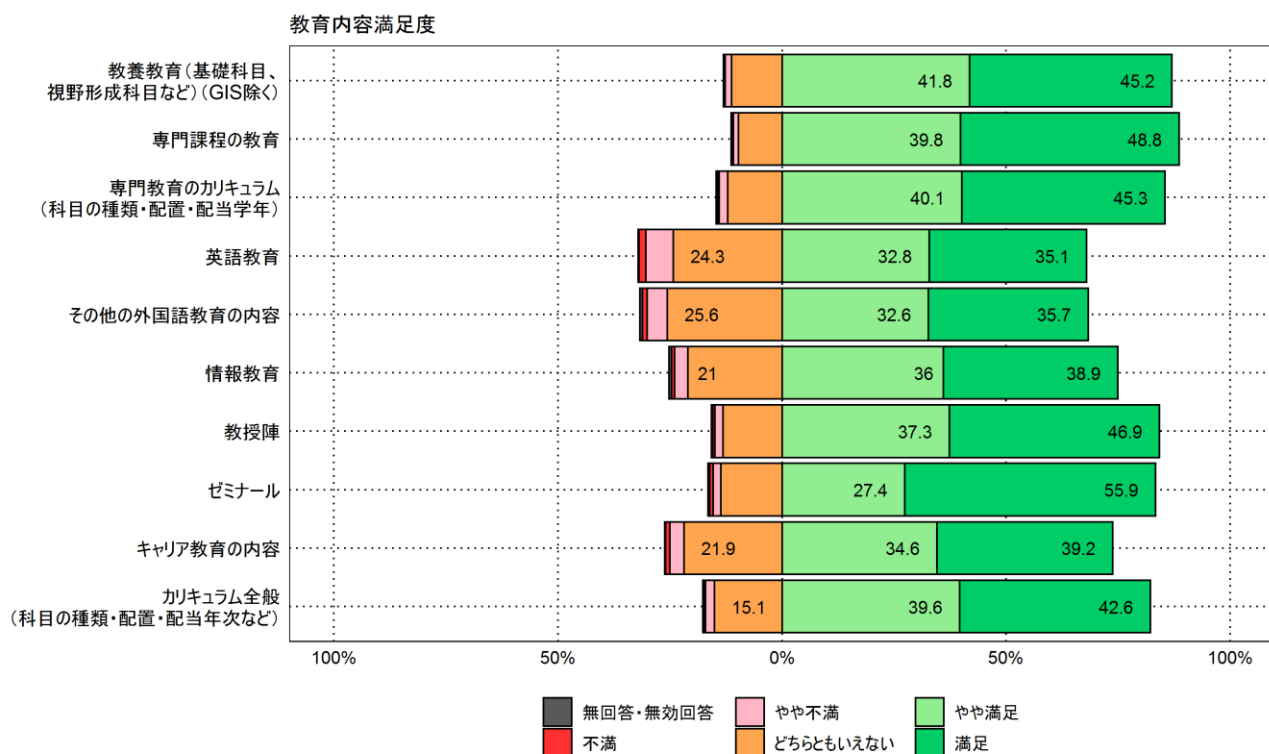


図2 教育内容満足度

3. 大学における成長感

図3は、「大学での授業や活動を通して、以下の知識や能力、態度がどの程度変化したと思いますか。」（“かなり向上した”～“ほとんど向上していない”の4件法）と尋ねた質問の回答結果である。それぞれ、肯定的回答（“かなり向上した”あるいは“ある程度向上した”と回答した者の割合。以下同様）が図の右側となるように示した。

肯定的回答が9割を超えているのは、「専門分野の知識」の94.2%、「専門分野の知識の応用力」の90.2%、「幅広い教養」の91.2%、「課題発見能力」の91.1%、「課題解決能力」の93.2%、「情報リテラシー（情報収集・活用能力）」は91.8%、「自分で判断する能力」の94.2%となった。

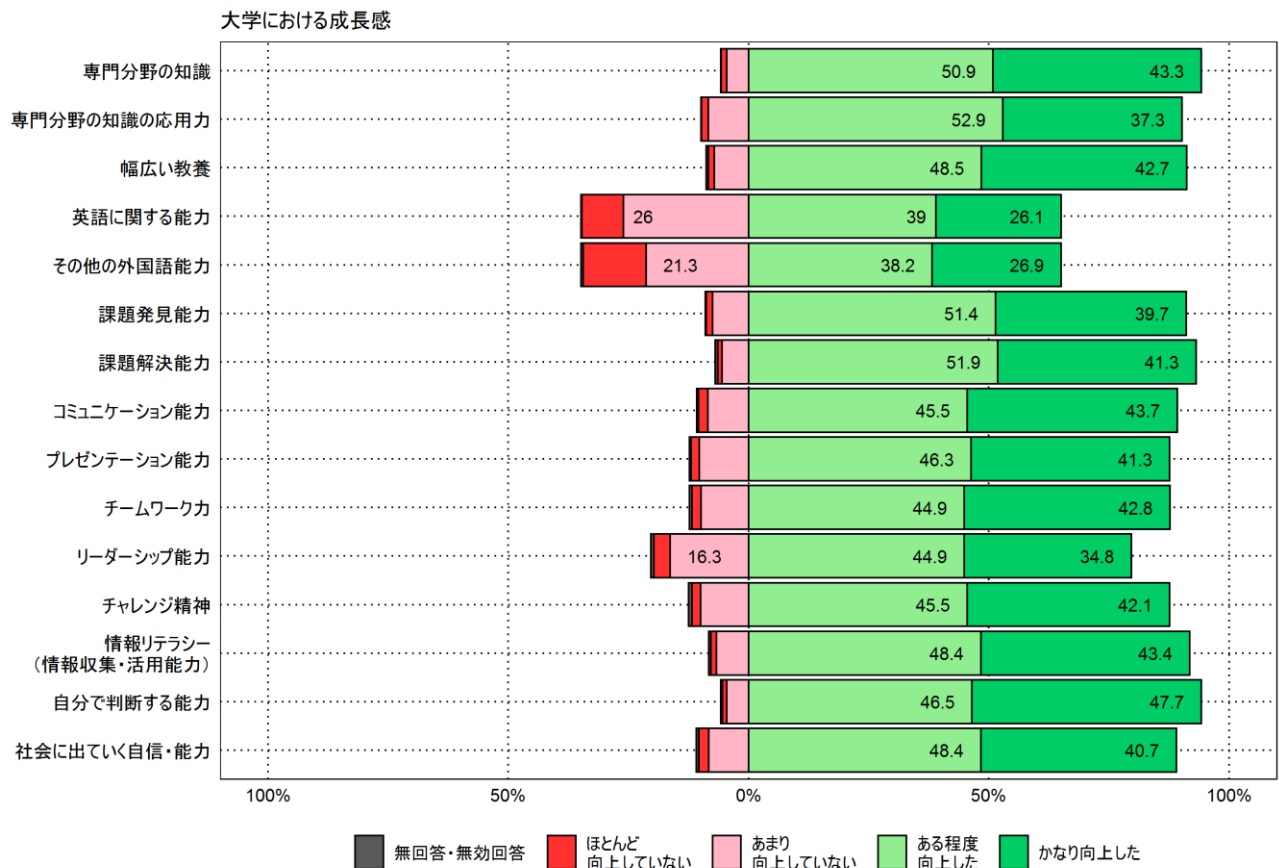


図3 大学における成長感

4. 在学中の取り組み熱心度

図4は、「これまでの大学生活で次のような活動にどの程度熱心に取り組みましたか。」（“熱心に取り組んだ”～“熱心に取り組まなかった”の4段階尺度及び“経験なし”を含む5つの選択肢から1つを選択）と尋ねた質問の回答結果である。それぞれ、肯定的回答（“熱心に取り組んだ”あるいは“ある程度熱心に取り組んだ”）と回答した者の割合。以下同様）が図の右側となるよう示した。

第1に、学習過程の取り組みと関係の強い項目において肯定的回答が8割を超えたのは、「自分で文献や資料を調べる」の87.7%と、「自分の考えや意見を発表する」の84.9%である。第2に、学習内容と関係する項目において肯定的回答が8割を超えたのは、「専門分野の学習」の88.1%、「ゼミ・研究室活動」の82.3%となる。第3に、正課外活動と関係の強い項目において肯定的回答が7割を超えたのは、「就職活動」の76.0%と「アルバイト」の83.3%である。第4に、在学中の交流と関係する項目において肯定的回答が7割を超えたのは、「クラス・ゼミ・研究室の友人との交流」の75.7%、「部活・サークルの友人との交流」の70.2%、「学外の友人との交流」の74.7%である。

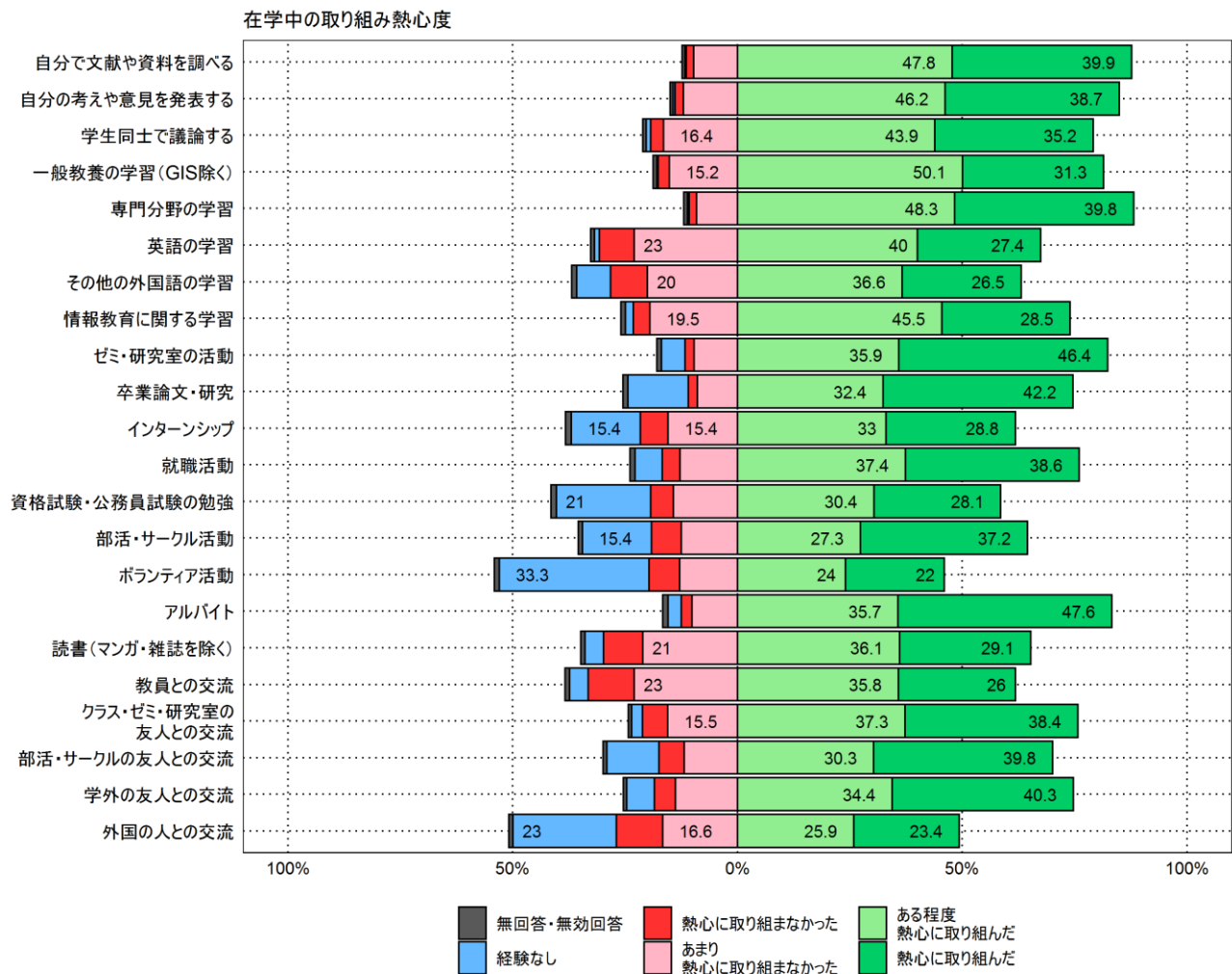


図4 在学中の取り組み熱心度

5. サービス・施設設備満足度

図5は、「大学のサービスや施設、設備に対してどの程度満足していますか。」（“満足”～“不満”の5段階尺度及び“利用したことがない”を含む6つの選択肢から1つを選択）と尋ねた質問の回答結果である。それぞれ、肯定的回答（“満足”あるいは“やや満足”と回答した者の割合。以下同様）が図の右側となるように示した。

肯定的回答が7割を超えたものは、「学部窓口のサービス」の72.6%、「図書館のサービス」の77.7%、キャンパスの設備（建物・教室）の74.5%、「キャンパスの設備（学生ホール、サークル施設、広場等）」の73.9%、「キャンパスの設備（食堂）」の71.9%となった。一方、「キャリアセンターのサービス（行事・個別相談等）」「学習環境支援サービス」「国際交流支援サービス」などでは、“利用したことがない”と回答する学生が多い。

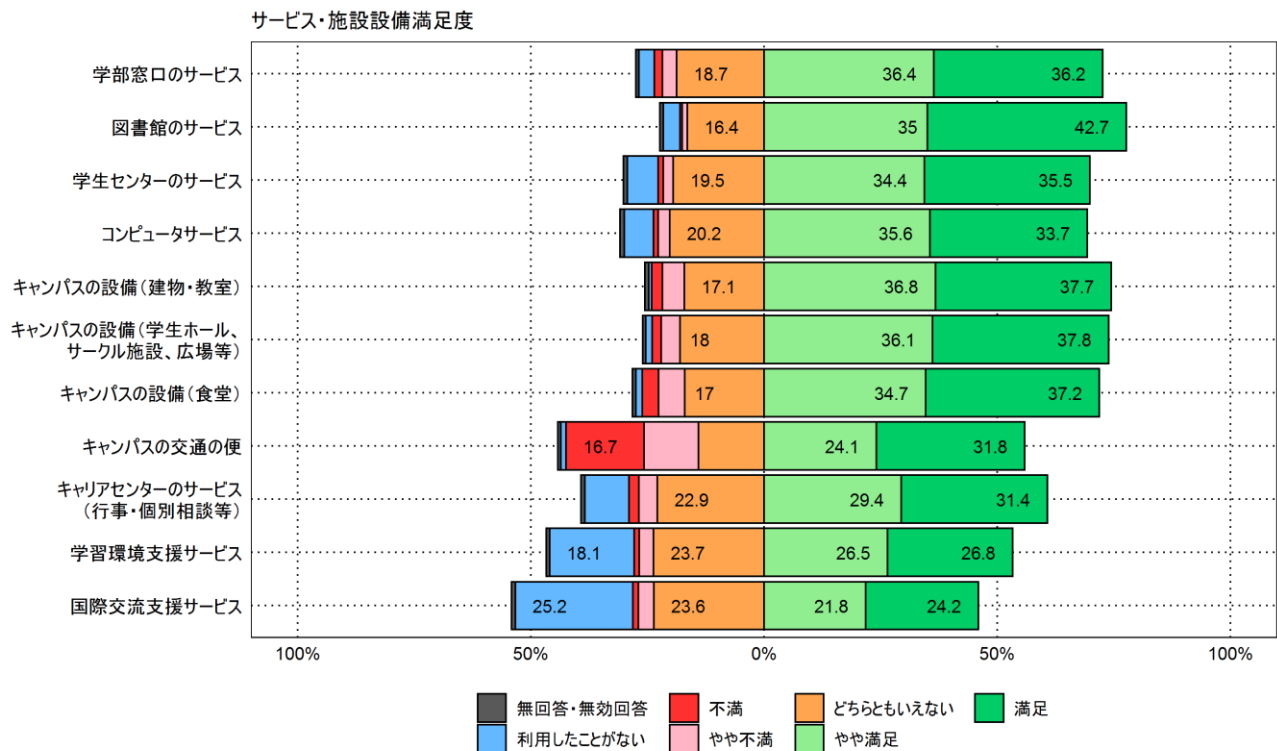


図5 サービス・施設設備満足度

6. 法政大学のイメージ

図6は、「法政大学は社会からどのように評価されていると思いますか。あなたのイメージと近いものを選んで、該当する番号を○で囲んでください」（“そう思う”～“そう思わない”の5件法）と尋ねた質問の回答結果である。それぞれ、肯定的回答（“そう思う”あるいは“いくらかそう思う”）と回答した者の割合。以下同様）が図の右側となるように示した。

最も肯定的回答が多かったのは、「社会的にも高く評価されている」の83.0%である。そして、肯定的回答が多い順に並べれば、「卒業生は社会的に活躍している」の80.8%、「教育研究水準は相対的に高い」の78.4%、「教育研究を通して社会に貢献している」の76.0%、「国際交流事業は活発である」の73.4%、「環境への取り組みを通して社会に貢献している」の72.0%となった。

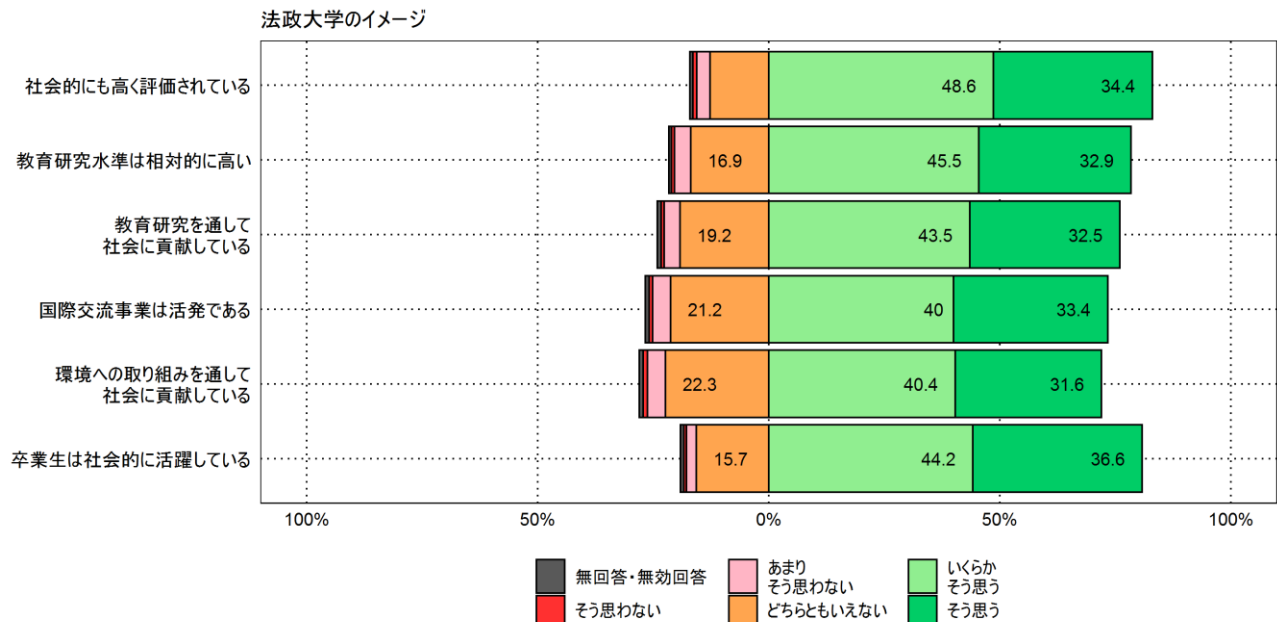


図6 法政大学のイメージ

7. 大学生生活の実感

図7は、「法政大学を卒業するにあたり、その感想として最も近いものを選んで、該当する番号を○で囲んでください。」（“そう思う”～“そう思わない”の5件法）と尋ねた質問の回答結果である。それぞれ、肯定的回答（“そう思う”あるいは“いくらかそう思う”と回答した者の割合。以下同様）が図の右側となるように示した。

最も肯定的回答が多かったのは、「法政大学を卒業できたことを誇りに思う」の88.2%である。そして、肯定的回答が多い順に並べれば、「在学中に良い交友関係を築くことができた」の86.9%、「学生時代を健康に過ごすことができた」の86.3%、「希望の進路（進学・就職等）に進むことができた」の82.5%、「充実した大学生生活を過ごすことができた」の81.5%、「今後も継続したい教員・職員との繋がりができた」の69.4%、「国際的な雰囲気を実感することができた」の56.9%となった。

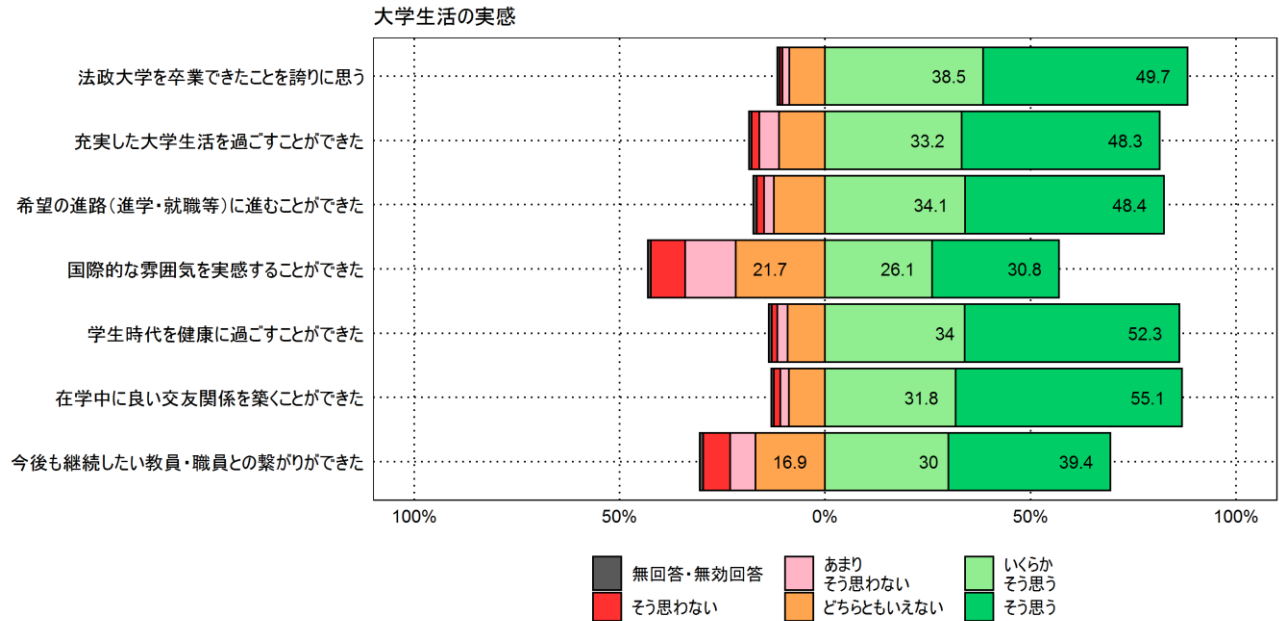


図7 大学生生活の実感

8. 法政大学推奨度

図8は、「もし、あなたの身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか」（“そう思う”～“そう思わない”の5件法）と尋ねた質問の回答結果である。それぞれ、肯定的回答（“そう思う”あるいは“いくらかそう思う”と回答した者の割合。以下同様）が図の右側となるように示した。

2022年度卒業生の肯定的回答は、83.0%であった。

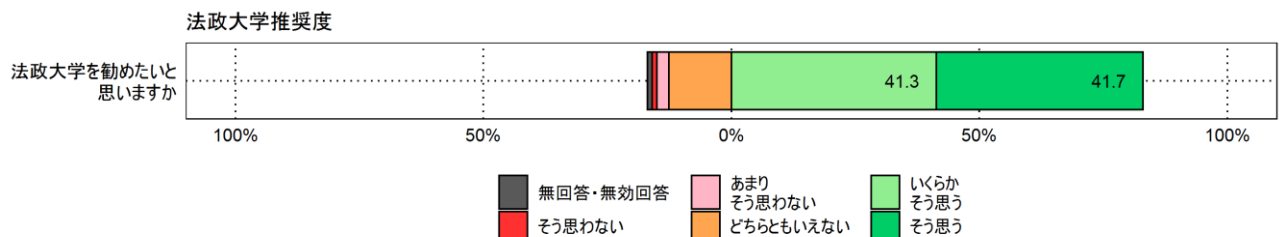


図8 法政大学推奨度

以上